

太天平棚栽培技術確立事業費

【予算額：772千円】

(平成30～令和元年度)

1 「太天平棚栽培推進協議会の設立」

(1) 推進協議会開催

○設立総会を開催(5/1)。

JAと行政等関係機関が連携・協議し、平棚栽培の推進方策、普及状況や太天特有の栽培技術に関する情報交換を実施。

○平棚栽培技術に関する研修会(2/27)

(2) 栽培講習会実施

○摘蕾講習会(4/18、16人)

○摘果講習会(7/3、15人)

○剪定講習会(1/10、19人)

(3) 情報収集

○先進地視察研修：熊本県(1/25)

(農業研究センター果樹研究所、宇城地域振興局管内)

2 「高品質安定生産技術の確立」

(1) 平棚栽培技術の確立

○平棚栽培モデル園を活用し、立木栽培と比較することで、果実ロス軽減、省力効果、品質向上効果等の調査を実施(4/23～11/30)。

立木栽培と比較して摘蕾時間が約3割の省力、生理落果が約16%減少。果実重や糖度等の品質向上効果について、明らかな差は見られなかった。

○白色マルチを設置し、着色促進等の品質向上効果を調査(9/21～11/30)。

果実の着色が促進され、カラーチャート値で0.4～0.7高くなった。

○ハマキムシ類のフェロモントラップを管内3か所に設置し、発生予察を実施し、被害軽減が図れた。(5/29～11/30)。

(2) 太天(福嘉来)の市場調査およびPR活動

○首都圏での販売促進および調査を実施するため、市場関係者、JA全農えひめ東京事業所、愛媛県東京事務所と事前協議を実施(9/10)。併せて販売促進を行う候補店舗を確認(9/11)。

○東京都(伊勢丹新宿店：11/10)